

横浜バスティン研究会 活動報告

2015年4月16日

ピアノパーティーD、聴音・楽典パーティーD

今月の横浜バスティン研究会はパーティーD について、会員の斎藤美帆先生が進行係をつとめ、先生がまとめられた内容と会員の事前のアンケートを交えた形で進められました。

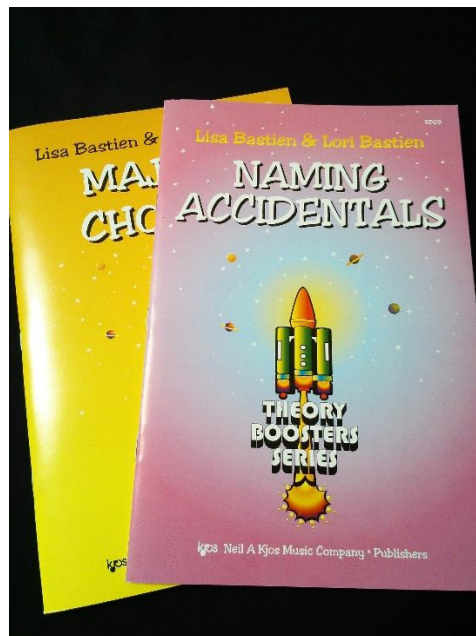
先生の教室では小学2～3年生が使用していらっしゃるとのこと。メジャー12調のポジションには調号カード等を使って定着を目指し、聴音・楽典パーティーの補助教材として「セオリーブースター：ネーミング・アクセシデンタルズ、セオリーブースター：メジャー・コード」を使用して理解を深めているそうです。

セオリーブースター全12巻 <THEORY BOOSTERS SERIES >

Lisa Bastien & Lori Bastien 著 Neil A.Kjos Music Company Publisher



(調号カードと音名サイコロ)



(セオリーブースター：ネーミング・アクセシデンタルズとセオリーブースター：メジャー・コード)

アンケートの回答（抜粋）はパーティーDを使用した生徒の年齢→年長から小学校低学年  
大事だと感じ指導に力を入れているところ→P2（マイナーの導入）P7（6/8拍子）

P9（強弱記号）P5 1（12しょくのわおん）などがあげられました。

質問コーナーで出たルービルーの意味は？には、マザーグースのキャラクター名と動画  
を見つけてくれました。You-tubeで「Looby Loo」で子供たちの可愛い歌を聞くことが  
できます。

(文責：石渡真理子)